

健康情報 定期便

～健康情報をお届けします～

令和4年7月1日 vol.9

発行 北広島市健康推進課

電話 372-3311(内1222)



水ぼうそうにかかったことがある方なら、
誰でも発症する可能性がある皮膚の病気です。

症状に気づいたら、

早期に治療することが大切です。

原因である水痘・带状疱疹ウイルスは、初めて感染すると“水ぼうそう”として発症しますが、
治っても生涯にわたって体の中に潜んでいます。

加齢やストレス、疲労、病気などによって免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活性化し、
【带状疱疹】を発症しやすくなります。

症 状

特徴は、体の左右どちらかに、赤い発疹
や水疱が集まって帯状に出現することです。

発疹がでる2～3日前から、ズキズキ・チク
チク・ピリピリした神経痛が出現し、しばらく
すると、痛みのある部分の皮膚が赤く腫れ、
水疱が出現します。

水疱がかさぶたになるまでは2～3週間
程度かかり、皮膚が正常に戻るまでには
1カ月程度かかります。

(経過や痛みの程度には個人差があります。)



症状は、
神経に沿って
様々な部位に現れます。

予防するために…

★ 免疫力を高める生活をこころがける

- 十分に睡眠をとりましょう。
- 適度な運動をしましょう。
- バランスの良い食事を摂りましょう。

★ ワクチンを受ける

50歳以上の方は、带状疱疹予防ワクチン
が接種でき、発症予防や重症化予防が
期待できます。

带状疱疹予防ワクチンは任意接種で、
費用は全額自己負担となります。

接種については、かかりつけ医または
医療機関にお問い合わせください。

带状疱疹かな？と思ったら

発疹が出てから72時間以内に抗ウイルス薬を
飲みはじめることがすすめられています。

適切な治療をせずに放置すると徐々に悪化し、
長い間痛みが残る【带状疱疹後神経痛】になる
可能性もありますので、発疹に気づいたら早期に
皮膚科や内科を受診して、医師の指示に従って
治療を受けましょう。